

【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 29 年 1 月 30 日 (月)

地区 豊浜東小学校区

会場 豊浜東小学校 1 階特別活動室

参加者数 23 人



《質問・意見》

まちづくり協議会の取組として、アサリ採取調査やハマボウの保全により地域活性化を進めている。今後とも支援協力をお願いしたい。お金が生まれる仕組みを模索している。

《回答》【市長】

お金が生まれるようになればよい。できることはさせていただく。

《質問・意見》

この地域は、良く話題に上る横輪町に負けないくらい、地場産物のアサリで頑張れると思う。環境フェアでも「伊勢湾のアサリがいい」という声を聞いている。オーナー制度とかができればよいと考える。

《回答》【市長】

地元の熱意が大事。沼木地区では住民のニーズ調査を行った結果、買物が不便とのことだったが、おかげバスも通れない状況にあった。そこで自主運行バスを走らせた。年間1千万円程度の費用がかかっている。実行前までの状況を作っていただき、提案いただいたら、その後の支援は考えさせていただく。オーナー制度を導入して伊勢の名前が更に売ればよい。農産物でも伊勢神宮を絡ませたストーリーなどがあれば付加価値が高まると思う。

《質問・意見》

・人口減少対策について今後の取組を説明してほしい。

《回答》

子育て環境と若い人の働き場所の確保が大事と考える。玉城町は大企業の工場もあり、仕事があって人口が増えている。伊勢の場合、企業誘致用地は全て売却済みとなり、土地

がないのが課題。例えば、学校統廃合で廃校となった学校用地を活用する方法も考えられる。宿泊施設誘致のための助成制度を創設した。

《質問・意見》

沢村栄治生誕 100 周年記念事業の巨人対日本ハムのオープン戦チケットの販売窓口が読売新聞だけのため入手がむずかしいと聞く。入手しやすいようにしてほしい。

《回答》【市長】

コンビニでも購入が可能である。

《質問・意見》

菓子博の入場チケットの入手はどうか。

《回答》【市長】

市役所でも、菓子博の幟が立っているところでも購入できる。

《質問・意見》

まちづくり協議会の健康・福祉委員会で活動しているが、福祉の充実をお願いしたい。

《回答》【市長】

福祉の要望を言っていただく方は少なく、ありがたい。子どもの貧困や児童虐待、貧困世帯の学力支援など児童や高齢者、障がい者福祉を重点にやっていく。また、障がい者施設が少ないので高齢者施設を転用した。

《質問・意見》

民生委員として独居高齢者の訪問を月に何回か行っている。去年、亡くなってから数日後に発見された事案が担当地区であった。新聞受けに新聞が一杯溜まっていて、新聞集金の人がおかしいと気付いた。新聞配達、牛乳配達で気が付けばどこかに連絡するシステムがあればよい。これからはそういうのが大事である。

《回答》【市長】

おっしゃるとおり。独居の孤独死は少なくない。コミュニティソーシャルワーカーを来年度社会福祉協議会に配置予定。民生委員の活動をサポートする仕組みを来年度始める。

《質問・意見》

宮川右岸に比べ、左岸の取組が遅れている感じがする。大きな箱物施設もない。今後どのように展開していく考えか。

《回答》【市長】

新しく建設するものはない。大紀町の阿曾温泉や淡路島の商業施設への転用などの事例も参考にしながら、統廃合後の学校の跡地をどのようにうまく活用していくかが今後の課題。そうした中、宮川橋の架替えは大きな案件だが、10年、20年単位の話である。

《質問・意見》

豊浜大橋は自転車通学生が多数往来しており危険。子どもたちの安全通行のためにできるだけ早く自転車専用の側道を片側でいいからつくってもらいたい。また日赤がバスルートから外れた場所に移転してから不便になった。豊浜、北浜方面からも日赤、伊勢病院に行きやすいように考えていただきたい。

《回答》【市長】

参考にさせていただく。

《質問・意見》

県道豊北港小俣線（堤防部分）の豊浜郵便局から宮川大橋までの区間の幅員を6mから7mに拡幅する話はどうなったか。また拡幅は川側か陸地側か

《回答》【市長】

現在、堤防工事と一緒に進めている。国・県との関係の話なのでいつになるかははっきり言えないが、期待してもらってよい。磯町地内の拡幅は川側

《質問・意見》

外城田川の堤防改修は、県に要望したが直ぐにダメとの返事だった。

《回答》【市長】

県、国への要望は市も後押しする。県はここ数年財政が厳しいようだが、要望活動は続けてほしい。応援要請があれば対応させていただく。